

第 82 回 統計委員会 議事概要

1 日 時 平成 26 年 12 月 8 日（月）14：29 ～ 15：04

2 場 所 中央合同庁舎 4 号館 12 階共用 1208 特別会議室

3 出席者

【委員】

西村委員長、川崎委員、北村委員、西郷委員、中村委員、中山委員、野呂委員、廣松委員、前田委員

【統計委員会運営規則第 3 条による出席者】

《国または地方公共団体の統計主管部課の長等》

内閣府経済社会総合研究所所長、内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官、総務省統計局長、総務省統計局統計調査部長、財務省大臣官房総合政策課調査統計官、文部科学省生涯学習政策局政策課教育分析官、厚生労働省大臣官房統計情報部長、農林水産省大臣官房統計部長、経済産業省大臣官房調査統計審議官、国土交通省大臣官房審議官、日本銀行調査統計局参事役、東京都総務局統計部長

【事務局等】

杉原内閣府大臣官房審議官、伊藤内閣府大臣官房統計委員会担当室長、佐藤内閣府大臣官房統計委員会担当室参事官、田家総務省政策統括官（統計基準担当）、小森総務省政策統括官付統計企画管理官

4 議 事

- (1) 諮問第 74 号の答申「内航船舶輸送統計調査の変更について」
- (2) 諮問第 75 号の答申「疾病、傷害及び死因の統計分類の変更について」
- (3) 諮問第 76 号「国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について」
- (4) 部会に属すべき専門委員の指名について
- (5) 部会の審議状況について
- (6) その他

5 議事概要

(1) 諮問第 74 号の答申「内航船舶輸送統計調査の変更について」

廣松サービス統計・企業統計部会長から、資料 1 に基づき、「内航船舶輸送統計調査の変更について」の部会審議状況及び答申案の内容説明が行われ、原案のとおり採択された。

答申案に係る説明後、廣松部会長から以下のコメントが付された。

- ・内航船舶輸送は、貨物の輸送実績を単純に重量のトン単位で見ると極めて少ないが、トンキロにすると現在でも輸送実績全体の 30% 程度のウエイトを占めており、今後も充実をしていく必要がある。今回は、貨物船用途別・油種別の燃料消費量も集計項目として新たに公表されることになったので、一定の改善が見られたものと考えている。

(2) 諮問第 75 号の答申「疾病、傷害及び死因の統計分類の変更について」

中村統計基準部会長から、資料 2 に基づき、「疾病、傷害及び死因の統計分類の変更について」の部会審議状況及び答申案の内容説明が行われ、原案のとおり採択された。

(3) 諮問第 76 号「国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について」

厚生労働省から資料 2 に基づき説明が行われ、匿名データ部会に付託されることとなった。

(4) 部会に属すべき専門委員の指名について

西村委員長から、資料 4 に基づき、統計委員会専門委員の発令について報告された。

(5) 部会の審議状況について

中村国民経済計算部会長代理から、資料 5 に基づき国民経済計算部会における国民経済計算の作成基準の変更に関する審議状況について報告された。

報告に関連して、西村委員長から、企業年金の記録方法の変更内容については、一般向けに分かりやすい十分な説明をしてもらいたいとのコメントがあった。

(4) その他

次回統計委員会は、1月 29 日（木）の午前中に中央合同庁舎 4 号館 12 階の共用 1208 特別会議室で開催する予定。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>